

雪谷 高等学校 令和6年度（2学年用）教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1～7組：瀧島、杉山）

使用教科書：（ 家庭基礎 持続可能な未来をつくる （第一学習社） ）

教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図り、それらに係る技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現し、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付ける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 消費生活 【知識及び技能】消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について、問題を見いだし考察する。 【学びに向かう力、人間性等】消費生活について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	・指導事項 生涯を見通した経済計画 消費者問題 支払方法とリスク防止 消費者の自立と行政の支援 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理できている。 【思考・判断・表現】自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について、問題を見いだし考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】消費生活について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	B 衣生活と健康 【知識及び技能】ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】被服の機能性や快適性について考え、課題を見いだし考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】衣生活と健康について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	・指導事項 被服の機能と着装 被服材料と管理（素材・洗濯・表示） 被服製作 ・教材 教科書、資料集、実習教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】被服の機能性や快適性について考え、課題を見いだし考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】衣生活と健康について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	C 子どもの生活と保育 【知識及び技能】乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解し、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】親や家族及び地域や社会の果たす役割について考え、問題を見いだし考察する。 【学びに向かう力、人間性等】子どもの生活と保育について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	・指導事項 子どもの誕生 子どもの心身の発達 親の役割 子どもとのかかわり方 子どもの権利と福祉 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解し、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】親や家族及び地域や社会の果たす役割について考え、問題を見いだし考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもの生活と保育について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D 食生活と健康 【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだし考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食生活と健康について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	・指導事項 食事の機能と栄養 食生活の分析と改善 献立作成 食文化（郷土料理・行事食） 調理実習 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだし考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活と健康について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	E 住生活と健康 【知識及び技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、住居の計画・管理に必要な技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 住所の機能性や快適性、住居と地域社会の関わりについて、問題を見いだし考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 住生活と住環境について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	・指導事項 住まいの機能 プライバシーとコミュニケーション ライフステージと住まい 賃貸住宅の借り方 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、住居の計画・管理に必要な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 住所の機能性や快適性、住居と地域社会の関わりについて、問題を見いだし考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 住生活と住環境について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	F 青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期の課題を理解し、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の意思決定に基づき、責任をもって行動し、生活の中で課題を見いだし考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、青年期の自立と家族・家庭について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	・指導事項 人の一生と発達課題 自立するとは ライフプラン 家族に関する法律 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題を理解し、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 自己の意思決定に基づき、責任をもって行動し、生活の中で課題を見いだし考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、青年期の自立と家族・家庭について関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	G 高齢者の生活と福祉 【知識及び技能】 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解し、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、問題を見いだし考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢期の生活と福祉について、関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	・指導事項 高齢者の心身の特徴 高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解し、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、問題を見いだし考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期の生活と福祉について、関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70